

公表	事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)
----	----------------------------

○事業所名	みずいろの木			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 4日 ～ 令和7年 2月 1日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)	11件
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 4日 ～ 令和7年 1月 15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4件
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 3日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	本人の“こうなりたい”という希望をもとに保護者の願いや関係機関との話の中で、一人一人に合わせた個別支援計画の作成ができていること。	計画書をもとに療育する中で、経過報告や確認を朝のミーティング時に行っています。また、子どもたちと一緒に計画を立てていることで、本人たちの意識もあり目標に向かって取り組むことができます。また、本人だけではなく周りの理解と応援を受けながら取り組むことができます。	状況に応じて、お子様と保護者での3者面談を行いながら双方の意見を聞き出し、改めてお互いの意見を聞く場を作ること、家庭での関わりの支援にもつなげていく機会を増やしていけたらと思います。
2	広さのあるプレイルームや「発達庭」での活動を行えることで、子どもたちがストレスを感じにくく、活発に活動できるような環境になっていること	療育庭を作ってくださっている「笑楽」さんに庭づくりをお願いし、子どもたちと一緒に作り上げたことで自分たちの庭だという意識を持ちを大切に使うことができます。	丸太の塗装の塗り替えや芝生の手入れを、子どもたちと取り組みながら、自分たちで大切にすることを体験したり私生活でも自分の持ち物に意識を向けられるよう取り組みます。
3	年間の計画としてバザー活動に取り組んでいます。バザー活動では、自分たちで商品の開発、製作、検品、値段設定、販売とお金を稼ぐ体験ができるよう取り組んでいます。	商品を作るための材料の購入に稟議書を作成したり、自分たちで買い出しに行き、安いコストで作れるアイデアを出し合ったりと、一人ではなく仲間と共に同じ目標に向かって役割分担をしながら取り組むことで、協力することやコミュニケーション力の強化につなげています。	指導員の助言や働きかけが主になってしまわないよう、回数を重ね経験をすることで、自分たちでアイデアを出し合い作り上げられるよう導いていきたいと考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の呼びかけや参加を促しているが、共働き等の家庭環境もあり保護者会の参加率が低いこと	事業所の利用回数の違いや習い事等で、保護者会の参加を懸念されている保護者さんがいるように思う。	1度参加されると保護者会の良さを感じ何度も参加して下さる保護者の方もいらっしゃるため、保護者会での活動の報告や様子をお伝えし興味を持っていただくことや、回数を増やしていきながら参加しやすい雰囲気づくりに、事業所としてご協力ができるばいいなと考えています。
2	作業療法士などの専門職員がいない	人口が少なく、県外に就職していることや就職先が事業所などの民間事業所ではない場合が多いためと考えられる。	放デイという事業形態や事業所での取り組み等を宣伝すること。また、求人サイト、SNS等の利用を行いながら多くの方に事業所のことを知っていただくことが必要ではないかと考えています。
3	事業所内全ての場所がバリアフリー化されていない為、今後車いすを必要とするお子さんが利用する際に車椅子での移動が難しい箇所がある。	スロープや手すり等が付いている場所はあるが、空き家を改装したこともあり室内・室外と全てをバリアフリー化することが難しい状況だった。	利用を希望される際に見学に必ず来ていただくことや、段差をできるだけ少なくするためのスロープの購入を検討に入れておくことが必要だと考えています。